

佐賀市南商工会地域経済動向調査

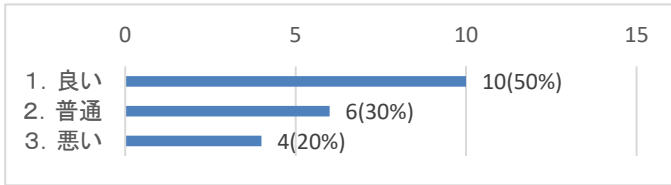
佐賀市南エリアの景況

佐賀市南商工会内 20 事業所を対象に景気動向、経営上の課題などを聞き取った。調査は令和 5 年 6 月に実施している。

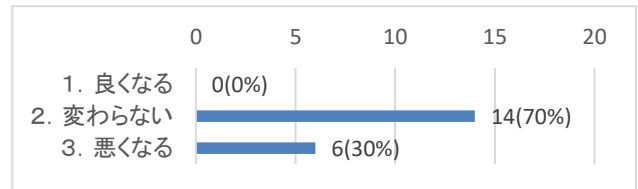
■佐賀市南エリアの動向(令和 5 年 4 月～6 月期)

◇景況判断

<現在の景況感>



<3 か月後の見通し>



<DI 値>

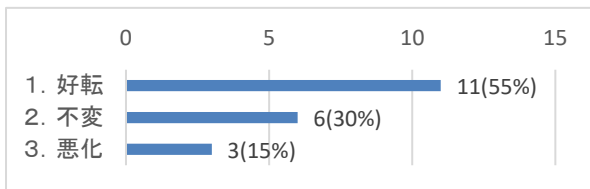
	調査数	現状 (R5. 5)	見通し (R5. 8)
全産業	20	30.0	▲30.0
製造業	5	0.0	▲40.0
建設業	6	50.0	▲33.3
小売業	5	0.0	▲40.0
サービス業	4	75.0	0.0

・佐賀市南エリアの景況感は、DI 値は 30.0 であり、現在の景況感を「良い」と評する事業所が「悪い」を上回っている。今後の見通しでは、DI 値は▲30.0(現状と比較して 60.0 ポイント減)であり、景況感は減退していく方向と予測されている。

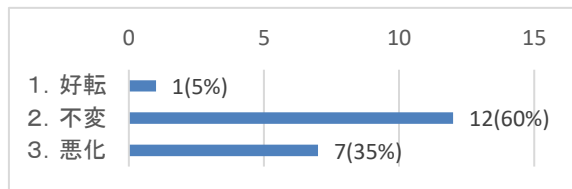
・母数が少ないため、業種別は参考値としてみてもらいたい。現状で、建設業、サービス業は「良い」、製造業、小売業は「普通」との景況感となっている。見通しについては、各業種ともポイント減少となっている。

◇売上

<今期 R5.4～R5.6>



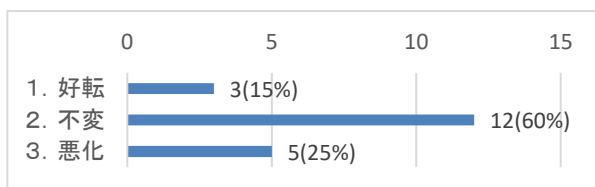
<予定 R5.7～R5.9>



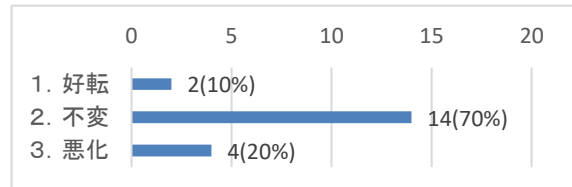
・売上については、現状では「好転」が 11 社 55%を占め、最も多い。今後については、「不変」が 12 社 60%で最も多いが、「悪化」が現状の 3 社 15%から今後は 7 社 35%と増大傾向である。

◇資金繰り

<今期 R5.4～R5.6>



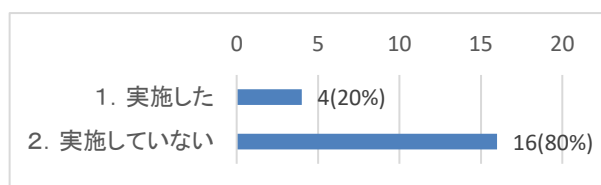
<予定 R5.7～R5.9>



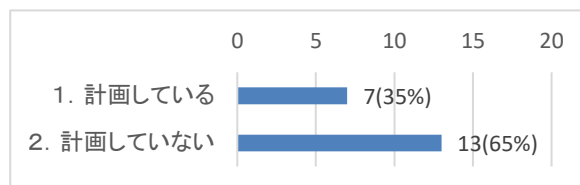
・資金繰りについては、現状では「不変」が 12 社 60%を占め、最も多い。今後についても現状と同等の傾向であり、「不変」が 14 社や 70%で最も多くなっている。

◇設備投資

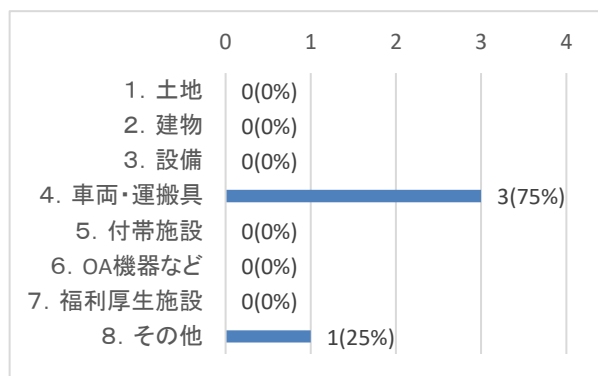
<今期 R5.4～R5.6>



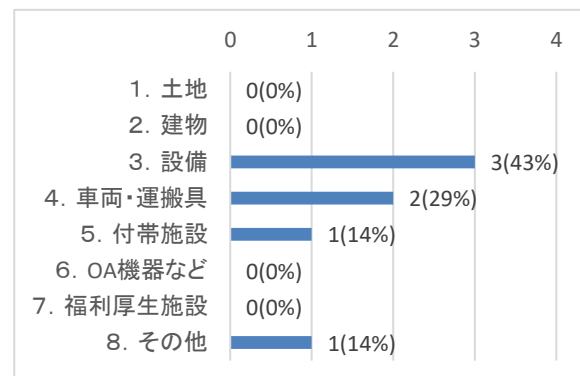
<予定 R5.7～R5.9>



<実施した設備投資の内容>



<予定している設備投資の内容>

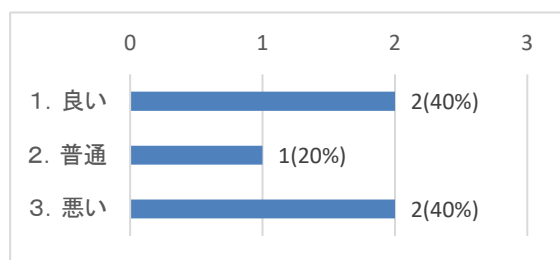


- ・今期に設備投資を実施した事業所は4件20%となっている。内容は、車両・運搬具などとなっている。
- ・今後は7社35%が設備投資を予定しており、設備、車両・運搬具などへの投資計画となっている。

■業種別景況感など

<製造業>

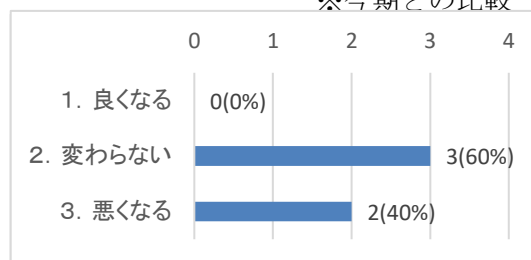
◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年4月～6月)



・「良い」、「悪い」がそれぞれ2社40%で最も多くなっている。

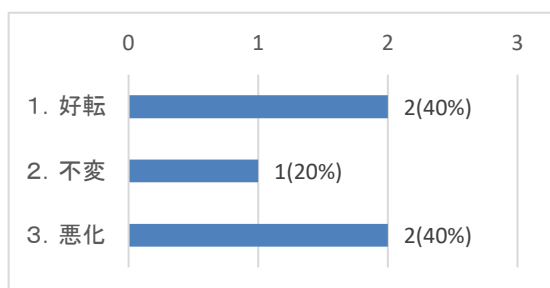
◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年7月～9月)

※今期との比較



・「変わらない」が3社60%で最も多くなっている。

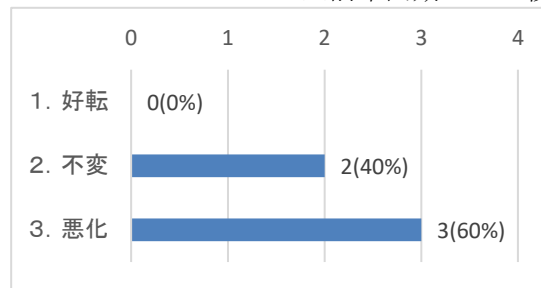
◇売上(加工)額 (今期 令和5年4月～6月)



・「好転」、「悪化」がそれぞれ2社40%で最も多くなっている。

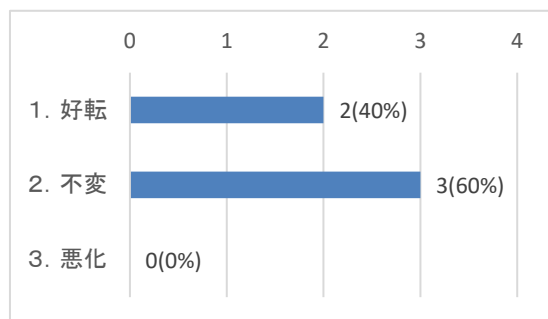
◇売上(加工)額 (来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



・「悪化」が3社60%で最も多くなっている。

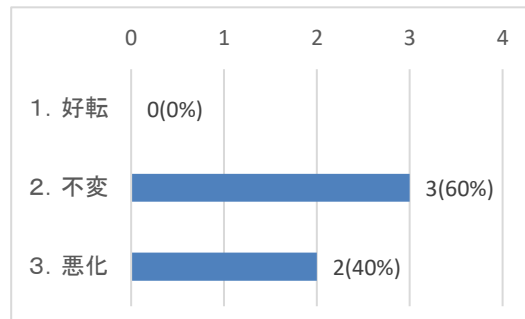
◇売上(加工)単価 (今期 令和5年4月～6月)



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。次いで「好転」と続く。

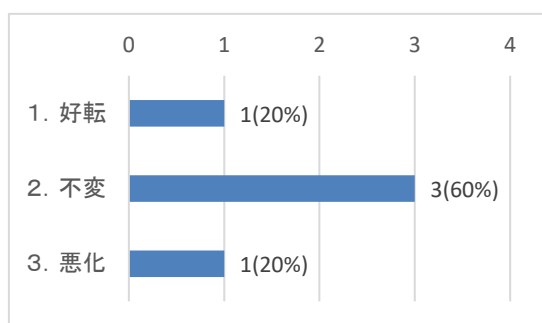
◇売上(加工)単価 (来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。次いで「悪化」と続く。

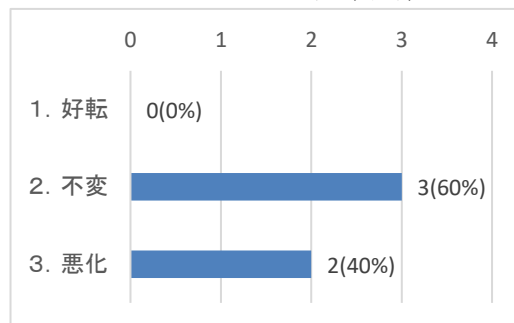
◇売上(加工)数量 (今期 令和5年4月～6月)



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。

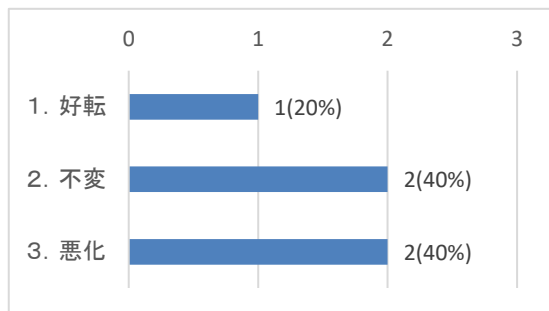
◇売上(加工)数量 (来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多くなっている。次いで「悪化」と続く。

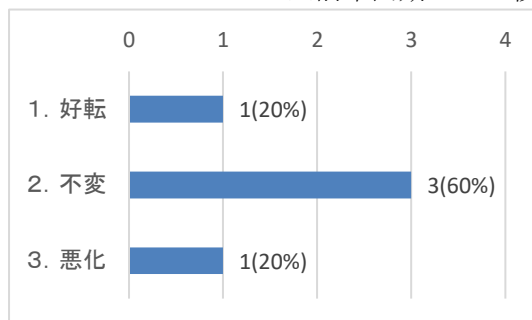
◇資金繰り（今期 令和5年4月～6月）



・「不変」、「悪化」が2件40%ずつとなっている。

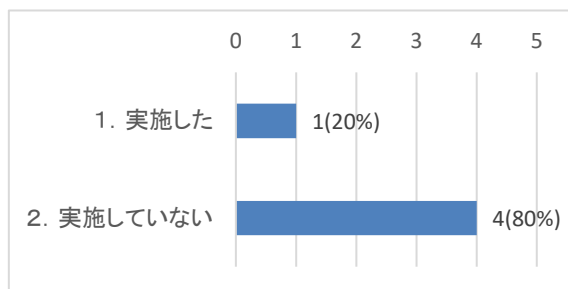
◇資金繰り（来期 令和5年7月～9月）

※前年同期との比較



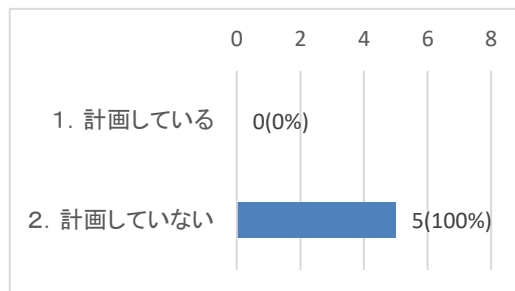
・「不変」3社60%で最も多くなっている。

◇設備投資（今期 令和5年4月～6月）



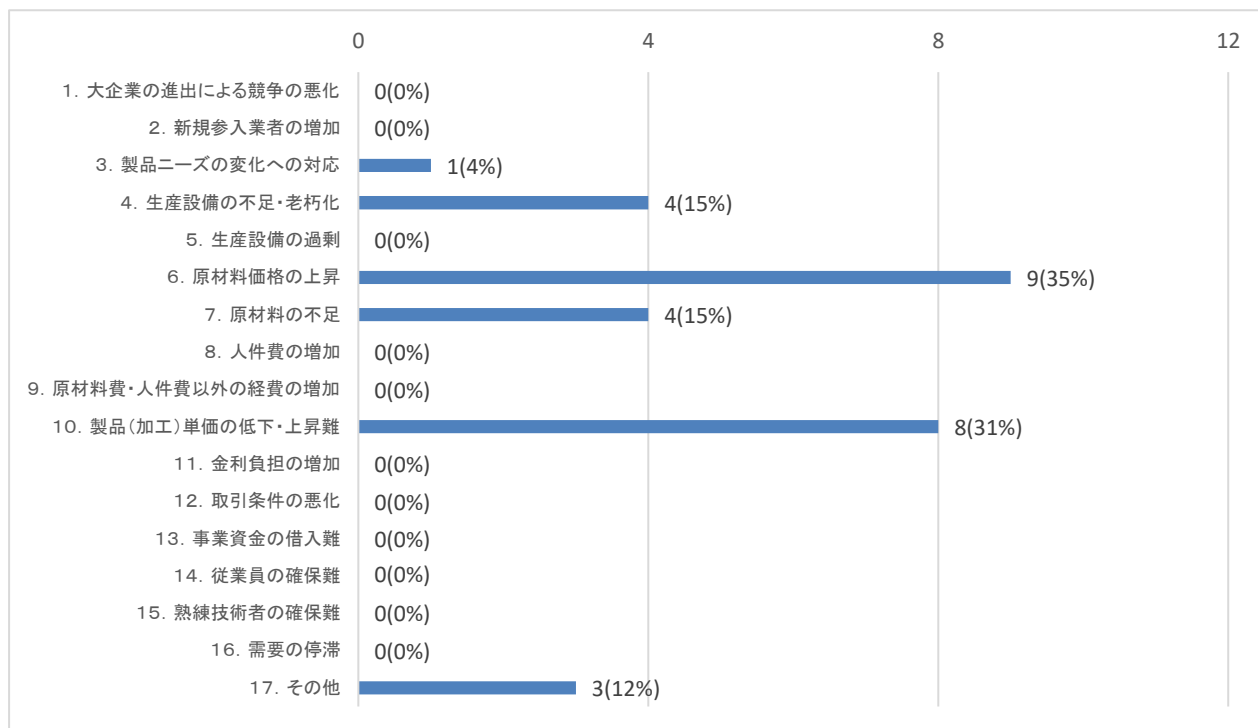
・設備投資は、1社20%が実施されている。

◇設備投資（来期 令和5年7月～9月）



・設備投資は、計画はない。

◇経営上の課題

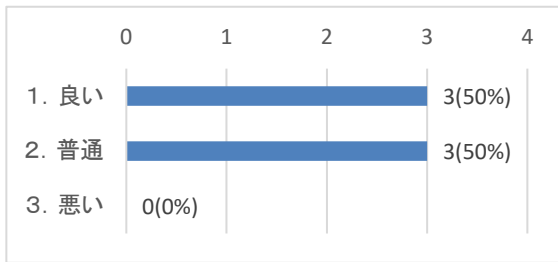


※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「原材料価格の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「製品（加工）単価の低下・上昇難」と続く。

<建設業>

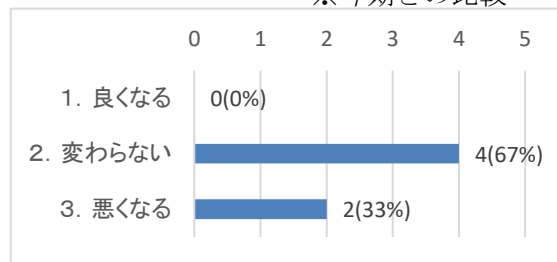
◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年4月～6月)



・「良い」、「普通」が3社50%ずつとなっている。

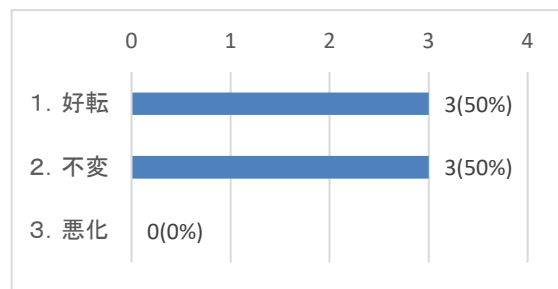
◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年7月～9月)

※今期との比較



・「変わらない」が4社67%で最も多く、次いで「悪くなる」と続く。

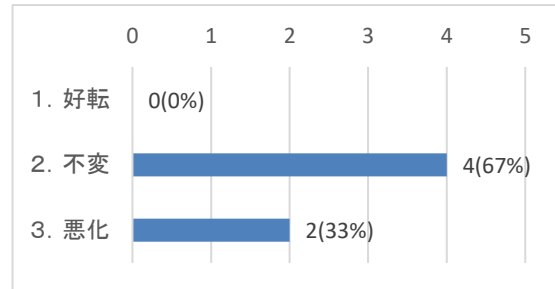
◇完成工事(請負工事)額 (今期 令和5年4月～6月)



・「良い」、「不変」が3社50%ずつとなっている。

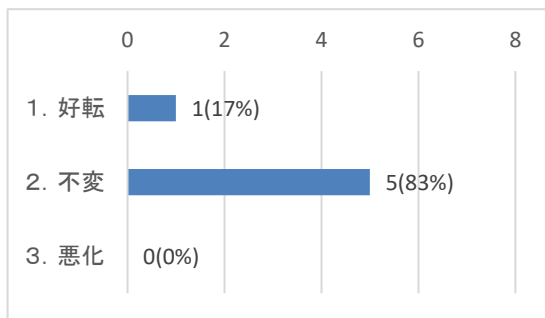
◇完成工事(請負工事)額(来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



・「変わらない」が4社67%で最も多く、次いで「悪くなる」と続く。

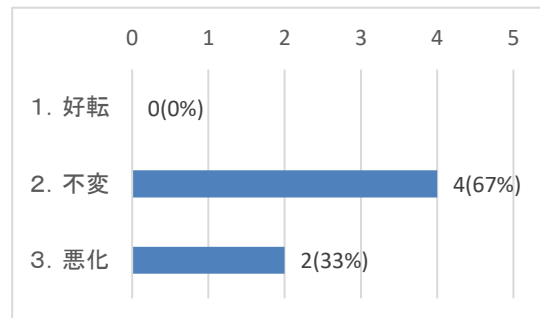
◇資金繰り (今期 令和5年4月～6月)



・「不変」が5社83%で最も多く、「好転」が1社17%となっている。

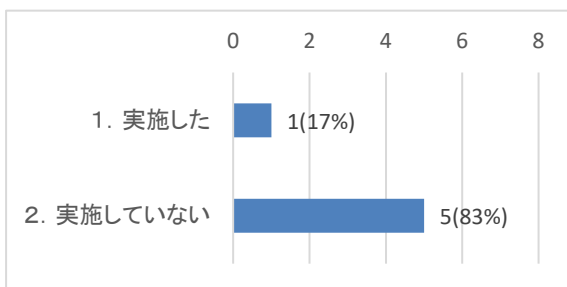
◇資金繰り (来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



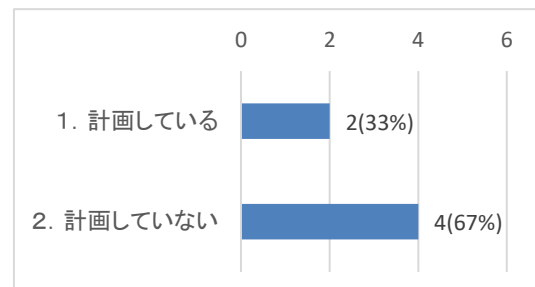
・「不変」が4社67%で最も多く、「悪化」が2社23%となっている。

◇設備投資(今期 令和5年4月～6月)



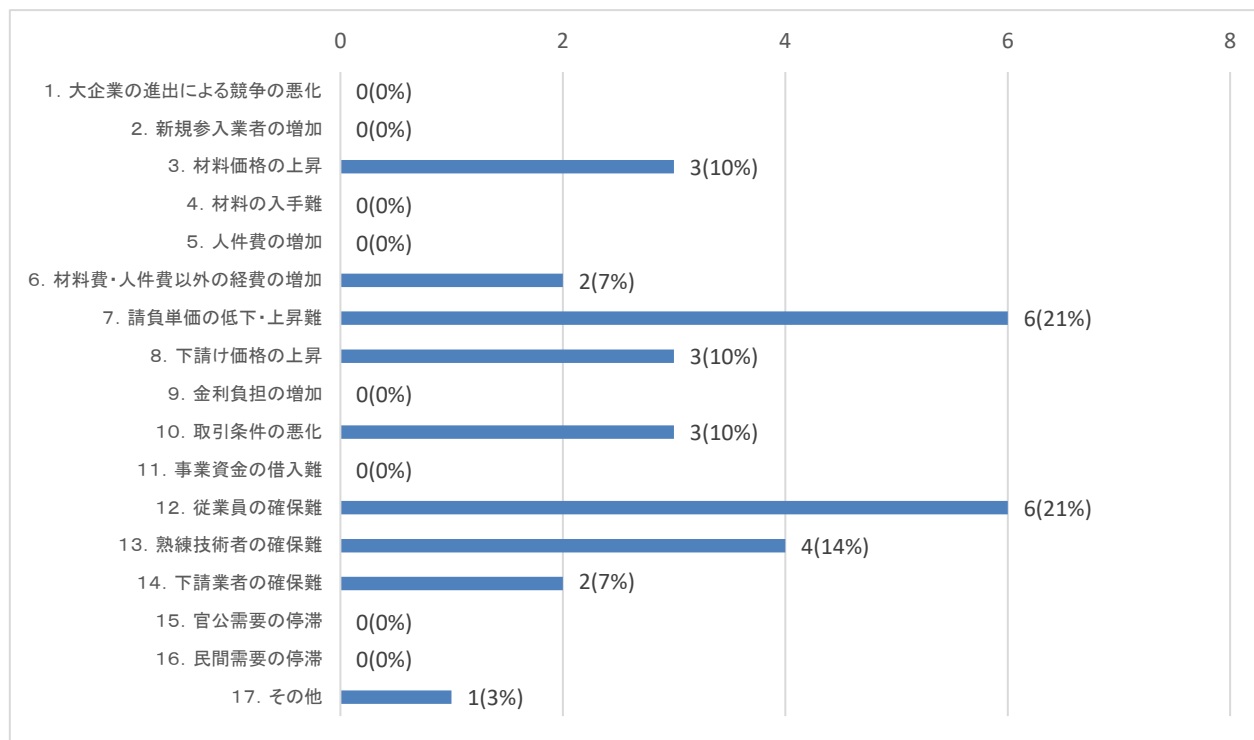
・設備投資は、1社17%が実施されている。

◇設備投資(来期 令和5年7月～9月)



・設備投資は、2社23%が計画されている。

◇経営上の課題

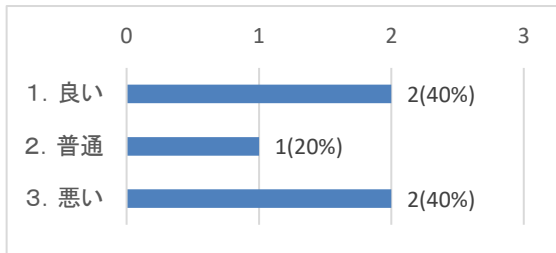


※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「請負単価の低下・上昇難」、「従業員の確保難」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「熟練技術者の確保難」と続く。

<小売業>

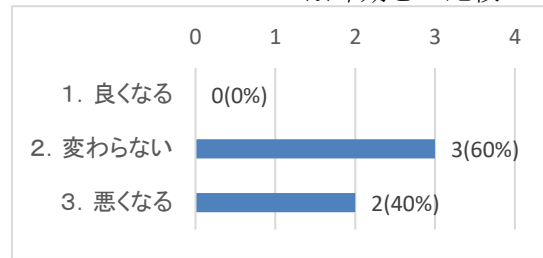
◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年4月~6月)



・「良い」、「悪い」が2社40%ずつで最も多い。

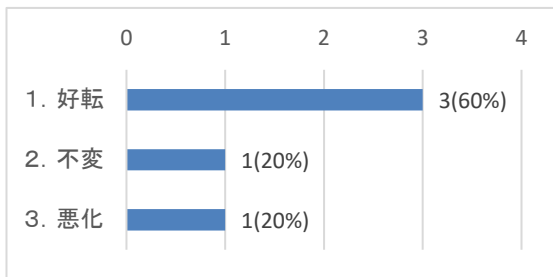
◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年7月~9月)

※今期との比較



・「変わらない」が3社60%となっている。次いで「悪くなる」が2社40%と続く。

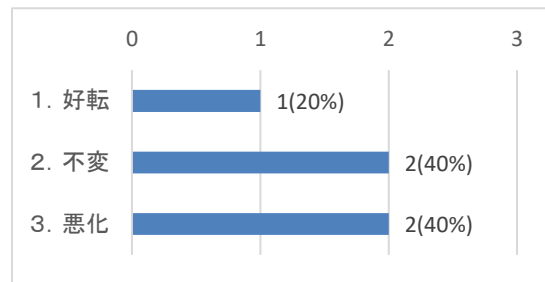
◇売上額 (今期 令和5年4月~6月)



・「好転」が3社60%で最も多い。

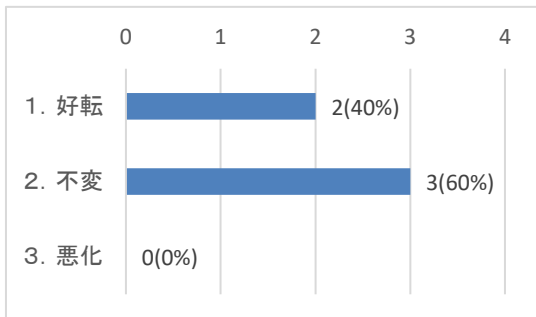
◇売上額 (来期 令和5年7月~9月)

※前年同期との比較



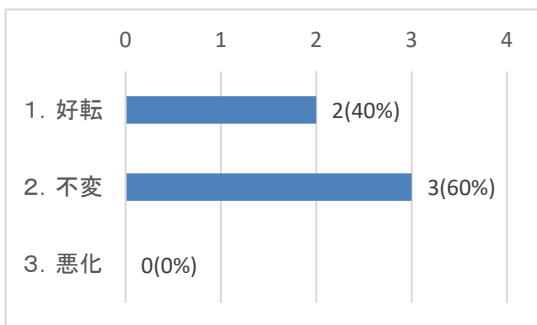
・「不変」、「悪化」が2社40%ずつとなっている。

◇客単価 (今期 令和5年4月~6月)



・「不変」が3社60%で最も多く、「好転」が2社40%となっている。

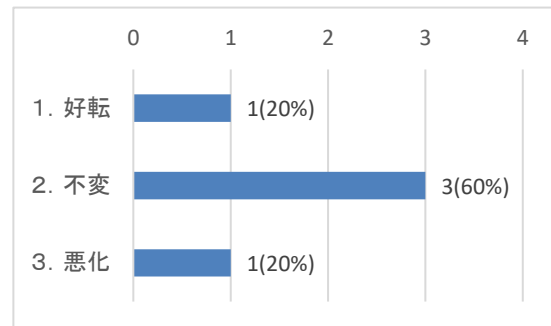
◇客数 (今期 令和5年4月~6月)



・「不変」が4社100%となっている。

◇客単価 (来期 令和5年7月~9月)

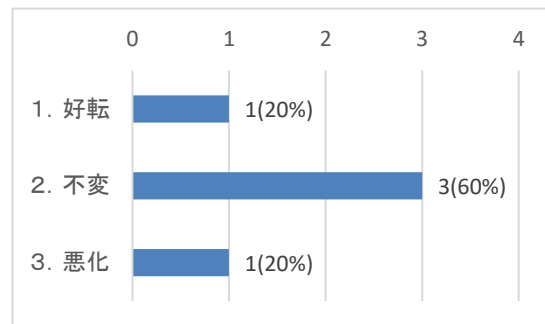
※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多く、「好転」、「悪化」が1社20%ずつとなっている。

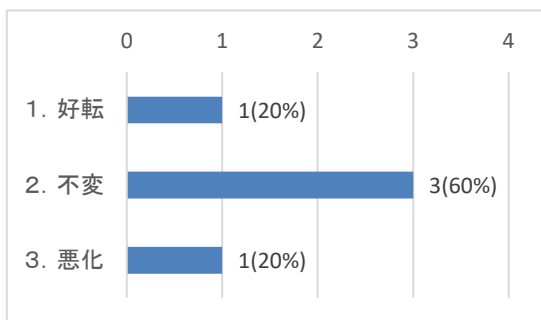
◇客数 (来期 令和5年7月~9月)

※前年同期との比較



・「不変」が3社60%で最も多く、「好転」、「悪化」が1社20%ずつとなっている。

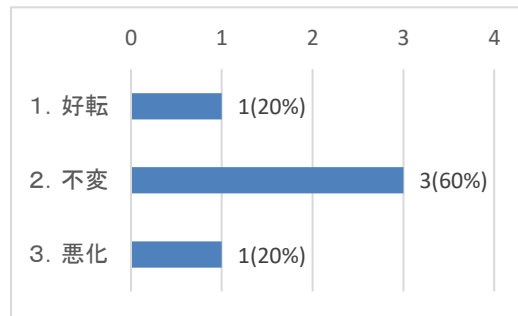
◇資金繰り（今期 令和5年4月～6月）



・「不変」が3社60で最も多く、「好転」、「悪化」が1社20%ずつとなっている。

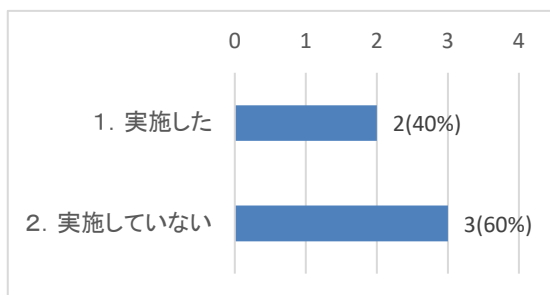
◇資金繰り（来期 令和5年7月～9月）

※前年同期との比較



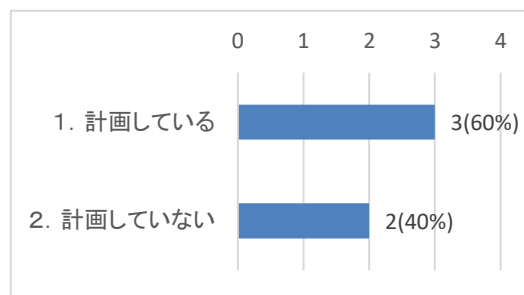
・「不変」が3社60で最も多く、「好転」、「悪化」が1社20%ずつとなっている。

◇設備投資（今期 令和5年4月～6月）



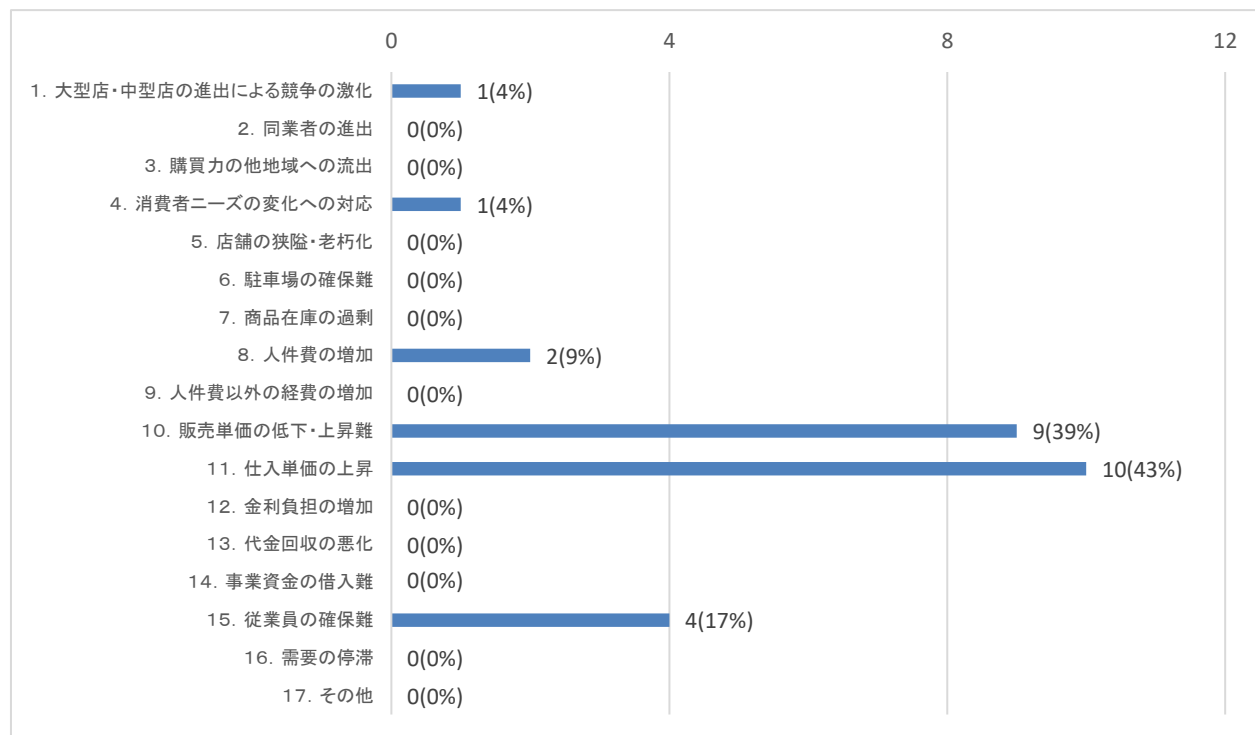
・設備投資は、2社40%が実施されている。

◇設備投資（来期 令和5年7月～9月）



・設備投資は、3社60%が計画されている。

◇経営上の課題

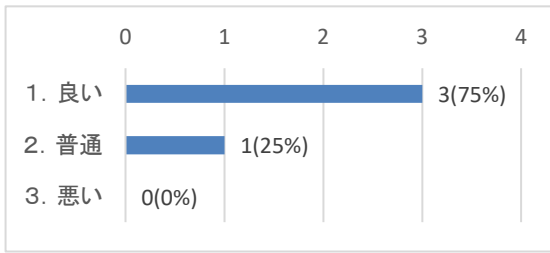


※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「仕入単価の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「販売単価の低下・上昇難」と続く。

<サービス業>

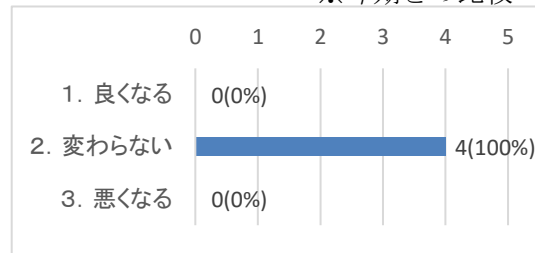
◇自社の現在の景況感 (今期 令和5年4月～6月)



・「良い」が3社75%で最も多く、次いで「普通」1社25%と続く。

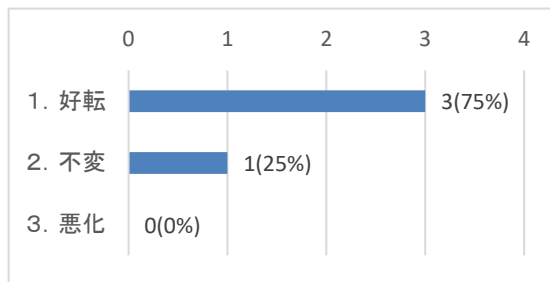
◇自社の3ヶ月後の見通し(来期 令和5年7月～9月)

※今期との比較



・「変わらない」が4社100%となっている。

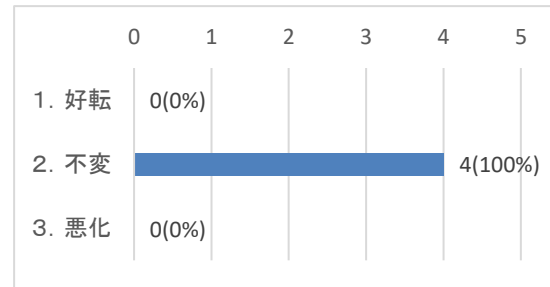
◇売上(収入)額 (今期 令和5年4月～6月)



・「好転」が3社75%で最も多く、次いで「不変」1社25%と続く。

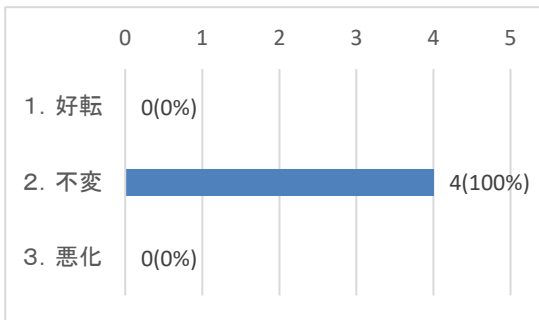
◇売上(収入)額 (来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



・「不変」が4社100%となっている。

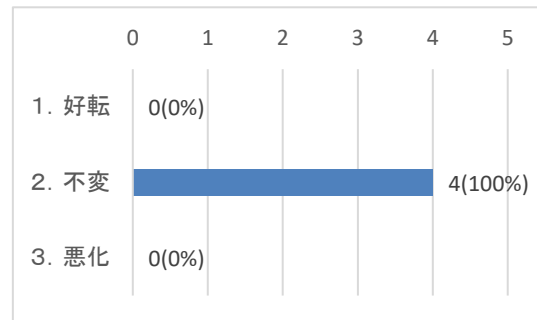
◇客単価 (今期 令和5年4月～6月)



・「不変」が4社100%となっている。

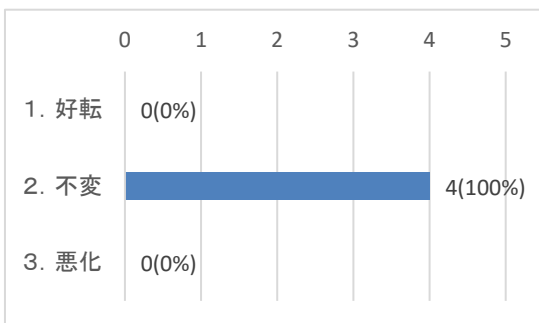
◇客単価 (来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



・「不変」が4社100%となっている。

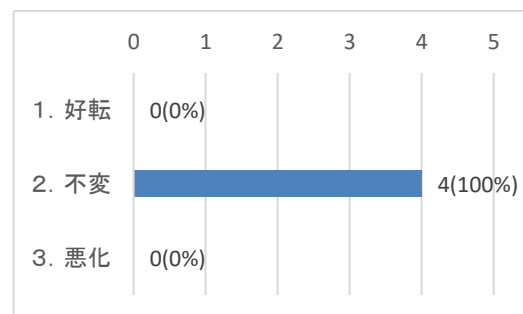
◇利用客数 (今期 令和5年4月～6月)



・「不変」が4社100%となっている。

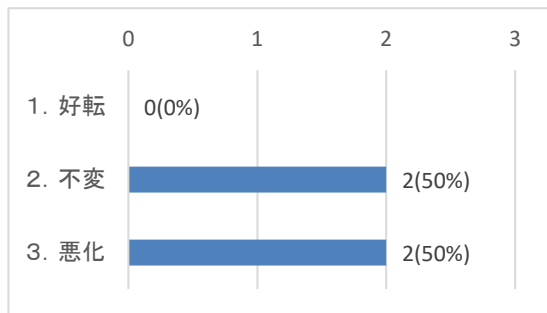
◇利用客数 (来期 令和5年7月～9月)

※前年同期との比較



・「不変」が4社100%となっている。

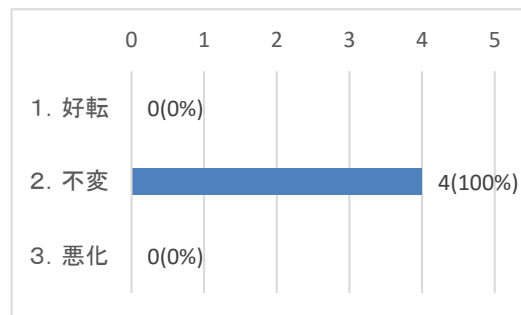
◇資金繰り（今期 令和5年4月～6月）



・「不変」、「悪化」が2件50%ずつとなっている。

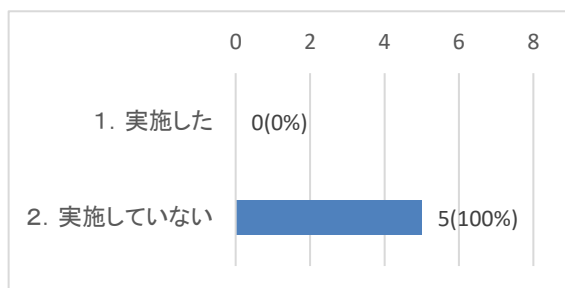
◇資金繰り（来期 令和5年7月～9月）

※前年同期との比較



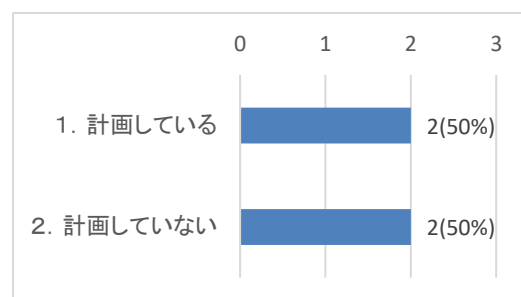
・「不変」が4社100%となっている。

◇設備投資（今期 令和5年4月～6月）



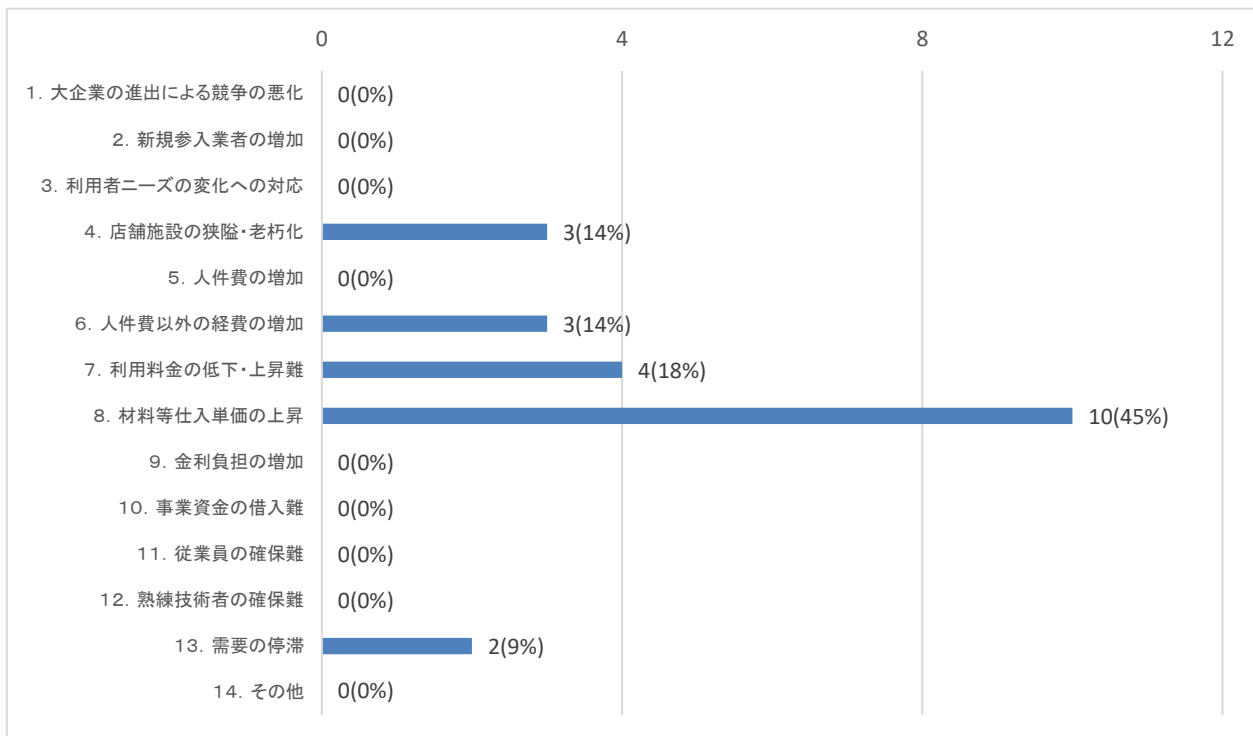
・設備投資は、実施されていない。

◇設備投資（来期 令和5年7月～9月）



・設備投資は、2社50%が計画されている。

◇経営上の課題



※課題の数値は、重要な順に第1位の課題3点、第2位の課題2点、第3位の課題1点と点数化して、項目ごとに合算したものである。

- ・「材料等仕入単価の上昇」が最重要課題となっている。
- ・次いで、「利用料金の低下・上昇難」と続く。

佐賀県の景況

■佐賀県内経済情勢報告 (R5.4 より)

『県内経済は、持ち直している』

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・生産活動は、物価上昇等の影響がみられるものの、持ち直しつつある。
- ・雇用情勢は、穏やかに改善しつつある。
- ・設備投資は、令和4年度は減少見込みとなっている。
- ・企業収益は、令和4年度は増益見込みとなっている。
- ・住宅建設は、前年を上回っている。

■佐賀県主要経済統計速報 (R5.6 より)

佐賀県主要経済統計速報6月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっています。
佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額(4月)は、全店販売額が10ヵ月連続で上回った。
乗用車新規登録台数(5月)は、6ヵ月連続で上回った。
新設住宅着工戸数(4月)は、5ヵ月連続で上回った。
公共工事前払保証請負金額(5月)は、2ヵ月振りに下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数(4月)は、5ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)(4月)は24ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産件数(5月)は3件増で、負債金額(5月)は2ヵ月連続で上回った。
- ・金融機関(銀行)貸出金残高(4月)は、39ヵ月連続で上回った。

<佐賀県内の参考指数>

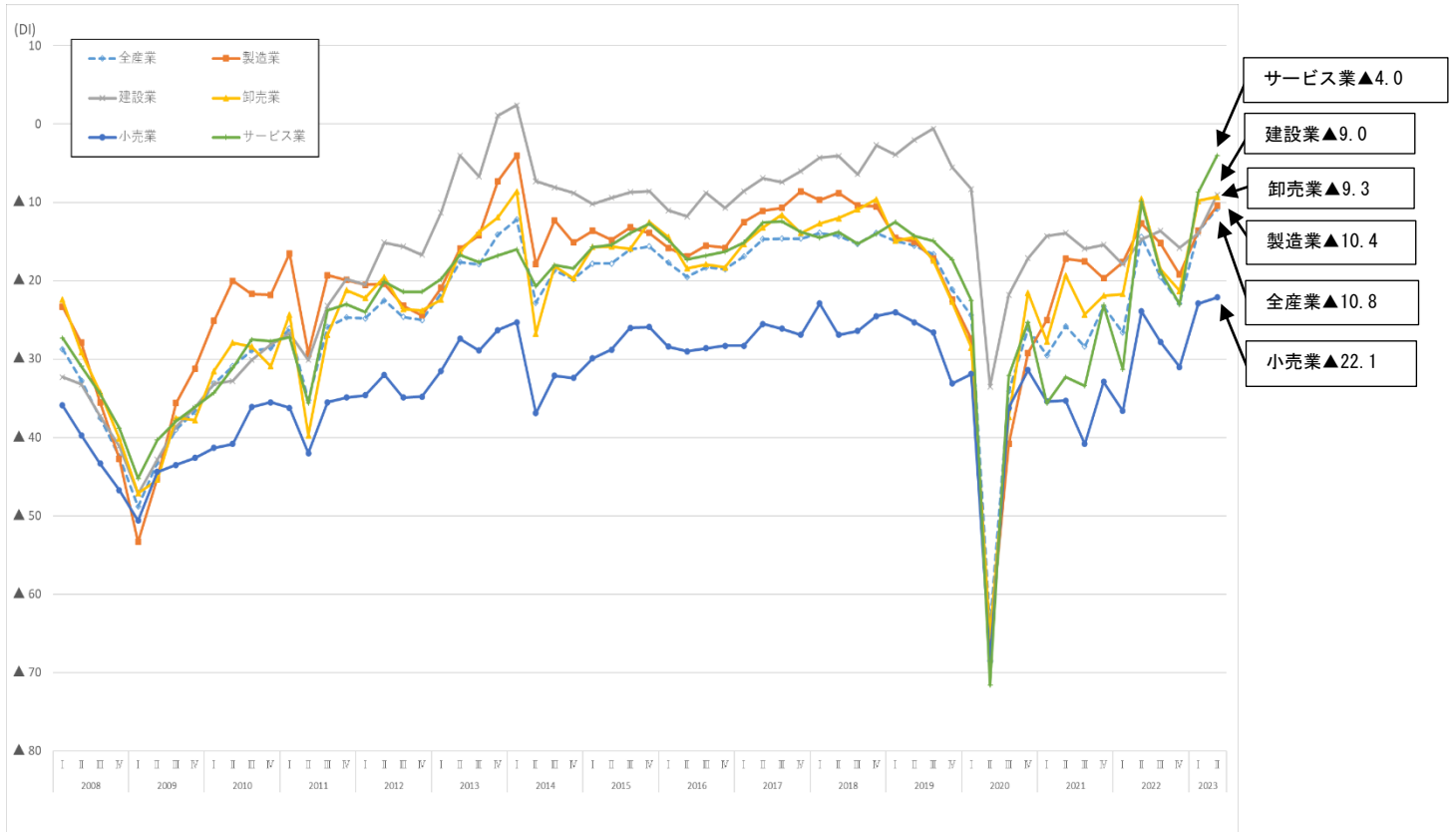
項 目			対象月	数 値	対前年同月比・増 減 分		前月比・増減分	
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	4月	51億34百万円	5.3%	↗	0.3%	↗
		全店販売額 既存店販売額		—	5.3%	↗	—	—
	住宅建設	乗用車新規登録台数	5月	1,886台	32.1%	↗	1.9%	↗
		新設住宅着工戸数	4月	581戸	11.5%	↗	41.0%	↗
		公共工事	公共工事前払保証請負金額	5月	62億55百万円	△51.6%	↘	△74.2%
生産	鉱工業生産指数(注)		4月	90.5	△4.7%	↘	2.1%	↗
雇用	所定外労働時間数指数(事業所規模30人以上)		4月	105.9	0.9%	↗	—	—
	有効求人倍率・受理地別(季節調整済)		4月	1.36倍	0.03	↗	0.00	→
	有効求人倍率・就業地別(〃)		4月	1.55倍	0.04	↗	△0.01	↘
企業倒産	企業倒産状況(累計は年間ベース)(注)	倒産件数(当月)	5月	3件	3件	↘	0件	→
		〃(累計)		14件	5件	↘	—	—
		負債金額(当月)		2億42百万円	2億42百万円	↘	△2億7百万円	↗
		〃(累計)		12億22百万円	△3億7百万円	↗	—	—
物価	消費者物価指数(佐賀市)		4月	104.3	3.1%	↗	0.8%	↗
金融	金融機関(銀行)貸出金残高		4月	1兆4,503億円	3.5%	↗	△0.2%	↘
人口	推計人口		6月	795,378人	△5,863人	↘	△288人	↘
	推計世帯数			318,959世帯	2,499世帯	↗	287世帯	↗
景気動向指数	先行指数		4月	37.5%	—	—	—	—
	一致指数			14.3%	—	—	—	—
	遅行指数			50.0%	—	—	—	—

全国の景況

■中小企業景況調査(2023年4~6月期より)

『中小企業の業況判断DIは、2期連続して上昇した』

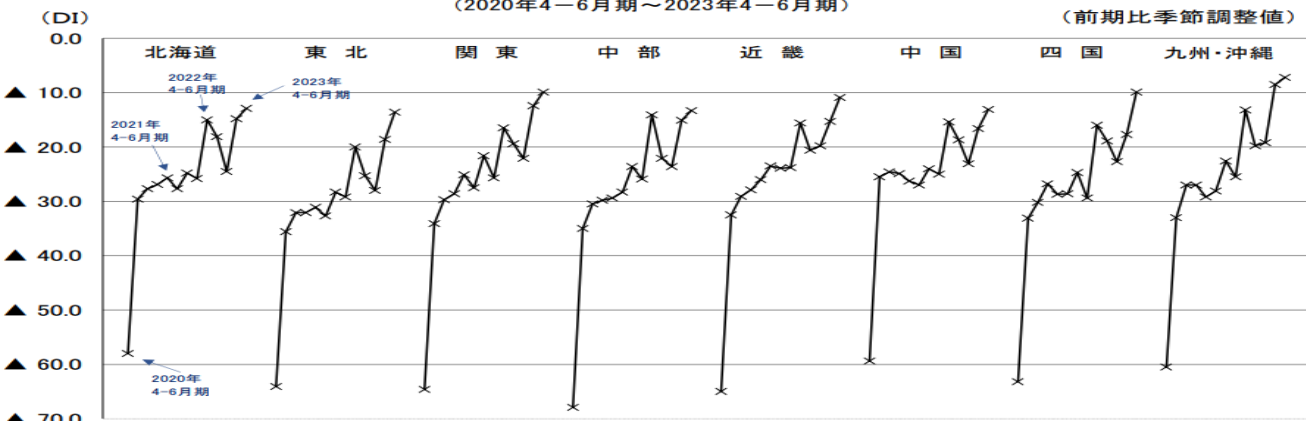
＜中小企業の業況判断(2023年4~6月期)＞



- ・2023年4~6月期の全産業業況判断DI値は、▲10.8(前期より2.9ポイント増)となり、2期連続して上昇した。
- ・業種毎には製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業のすべての業種でポイント増加となっている。

＜地域別業況判断(2023年4~6月期)＞

中小企業の地域別業況判断DIの推移(全産業)
(2020年4~6月期~2023年4~6月期)



(注) 1. 地域区分は、各経済産業局管内の都道府県により区分している。
2. 関東には、新潟、長野、山梨、静岡の各県、中部には、石川、富山の各県、近畿には、福井県を含む。九州・沖縄は、九州各県と沖縄県の合計。

- ・地域別の業況判断では、九州・沖縄をはじめ他の全ての地域でマイナス幅が縮小した。

『景気は、緩やかに回復している』

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直している。
- ・輸出は、底堅い動きとなっている。
- ・生産は、持ち直しの兆しがみられる。
- ・企業収益は、総じてみれば緩やかに改善している。企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢は、このところ改善の動きがみられる。
- ・消費者物価は、上昇している。
- ・先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

■参考 全国・佐賀県・佐賀市南の業況などの比較 (2023年4月～6月期)

◇景況判断(DI値)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲10.8	▲11.5	30.0
製造業	▲10.4	▲5.6	0.0
建設業	▲9.0	▲15.8	50.0
卸売業	▲9.3	▲6.0	-
小売業	▲22.1	▲27.0	0.0
サービス業	▲4.0	▲2.5	75.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国▲10.8に対し、佐賀県も近値の▲11.5となっている。

◇売上額DI(「増加」-「減少」前期比季節調整値)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲4.6	▲1.5	40.0
製造業	▲5.3	▲3.5	0.0
建設業	▲7.2	▲14.5	50.0
卸売業	▲4.0	7.0	-
小売業	▲13.6	▲10.1	40.0
サービス業	3.8	10.6	75.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国▲4.6に対し、佐賀県は▲1.5であり、全国値と比較してポイントは高い。

◇資金繰りDI(「好転」-「悪化」前期比季節調整値)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	▲10.8	▲13.7	▲10.0
製造業	▲9.6	▲10.6	▲20.0
建設業	▲6.4	▲5.8	16.7
卸売業	▲6.4	▲3.4	-
小売業	▲19.0	▲23.7	0.0
サービス業	▲8.2	▲13.2	▲50.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国▲10.8に対し、佐賀県は▲13.7で全国値と比較してポイントは低い。

◇投資(設備投資実施企業割合(実施企業/回答企業×100)単位:%)

	全国	佐賀県	佐賀市南エリア
全産業	16.7	13.9	20.0
製造業	21.1	15.4	20.0
建設業	20.8	17.8	20.0
卸売業	19.3	5.6	-
小売業	10.6	8.1	20.0
サービス業	15.8	17.5	0.0

※佐賀市南エリア値は母数が少ないため、参考値としてみてください。

全産業では、全国16.7%に対し、佐賀県は13.9%と低くなっている。

◇経営上の課題

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全国	原材料価格の上昇	需要の停滞	従業員の確保難
	佐賀県	原材料価格の上昇	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化
	佐賀市南	原材料価格の上昇	製品(加工)単価の低下・上昇難	生産設備の不足・老朽化 原材料の不足
建設業	全国	材料価格の上昇	従業員の確保難	官公需要の停滞
	佐賀県	材料価格の上昇	官公需要の停滞	熟練技術者の確保難
	佐賀市南	請負単価の低下・上昇難 従業員の確保難	—	熟練技術者の確保難
小売業	全国	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	佐賀県	仕入単価の上昇	消費者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	佐賀市南	仕入単価の上昇	販売単価の低下・上昇難	従業員の確保難
サービス業	全国	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	佐賀県	材料等仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	従業員の確保難
	佐賀市南	材料等仕入単価の上昇	利用料金の低下・上昇難	店舗施設の狭隘・老朽化 人件費以外の経費の増加

全国、佐賀県、佐賀市南エリア事業者の問題点を比較すると以下のとおりである。

- ・製造業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「原材料価格の上昇」となっている。
- ・建設業では、全国、佐賀県の1位は「材料価格の上昇」で、佐賀市南は「請負単価の低下・上昇難」、「従業員の確保難」となっている。
- ・小売業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「仕入単価の上昇」となっている。
- ・サービス業では、全国、佐賀県、佐賀市南とも1位は「材料等仕入単価の上昇」となっている。